

# 答礼人形「富士山三保子」里帰り事業

(答礼人形「富士山三保子」の里帰りを実現させる会  
実行委員会事務局 (静岡県企画広報部地域外交局内))

## 1 要旨

- ・昭和2年(1927年)、日米両国の友好の印として米国から贈られた西洋人形への答礼として、本県から戦前に米国へ贈った「富士山三保子」の里帰りを行う。
- ・本事業は、戦後70年を迎える今年度、戦争を乗り越えた両国の親善の象徴とするとともに、県民の平和に対する意識の高揚を図ることを目的に実施する。

## 2 答礼人形「富士山三保子」

- ・昭和2年(1927年)3月、当時険悪になりつつあった日米関係を憂慮し、宣教師として日本に滞在経験を持つグーリック宣教師が、雛祭りの時期にあわせ、両国の友好の印として全米から集めた「青い目の人形」約1万2千体を日本の小学校などに贈った。
- ・その返礼として、同年、渋沢栄一氏が中心となり、クリスマスの時期に合わせ、都道府県や大都市等から日本人形58体を集めて米国に贈った。本県からは、「富士山三保子」(平田郷陽作)が米国に贈られた。

## 3 里帰り展の開催日・場所

- (1) 平成28年2月21日～3月6日  
グランシップ(静岡市駿河区池田) 6階展示ギャラリー
- (2) 平成28年3月8日～3月13日(予定)  
プラサヴェルデ(沼津市大手町) 402会議室
- (3) 平成28年3月24日～3月28日(予定)  
遠鉄百貨店(浜松市中区砂山町) 8階催会場

## 4 展示内容

- ・答礼人形「富士山三保子」と県内に残る青い目の人形5体などの展示
- ・答礼人形「富士山三保子」をテーマとした日米交流の歴史と平和の尊さを伝えるパネル展示

### (参考) 青い目の人形

- ・米国から「青い目の人形」253体が贈られたと記録がある。
- ・現在、5体の保存が確認されている。

保存場所	市町名	名前
網代小学校	熱海市	メリー
明倫小学校	小山町	ミルドレッド
のぞみ幼稚園	伊豆の国市	フローレンス
富士市立博物館	富士市	メリー
御前崎市立図書館	御前崎市	マーベル・ワレン

答礼人形「富士山三保子」里帰りを実現させる会名簿（案）

平成 27 年 9 月 29 日現在

答礼人形「富士山三保子」里帰りを実現させる会			
No.	氏名	所属・職名	役職
1	川勝 平太	静岡県知事	会長
2	後藤 康雄	(一社) 静岡県商工会議所連合会会長	発起人 (副会長)
3	前澤 侑	静岡県商工会連合会会長	発起人 (副会長)
4	山口 祐子	(公財) 静岡県国際交流協会会長	発起人 (副会長)
5	鈴木 壽美子	静岡県文化協会会長	発起人 (副会長)
6	松本 巖	ライオンズクラブ国際協会 334-C 地区第一副地区ガバナー	発起人 (副会長)
7	白井 満	静岡県企画広報部長	(副会長)
実行委員会			
○答礼人形「富士山三保子」とゆかりを持つ団体等の代表者または役職者			
8	望月 篤	静岡県雛具人形協同組合理事長	
9	榛村 純一	(公社) 静岡県茶業会議所会頭	
10	成岡 揚蔵	静岡県茶商工業協同組合理事長	
○「青い目の人形」とゆかりを持つ団体等の代表者または役職者			
11	小山 隆儀	熱海市教育委員会学校教育課長	
12	相川 健	伊豆の国市教育委員会幼児教育課長	
13	湯山 博一	小山町教育委員会教育部こども育成課長	
14	木ノ内 義昭	富士市立博物館館長	
15	河原崎 尚己知	御前崎市教育委員会社会教育課長	
○答礼人形もしくは「青い目の人形」に関して識見を有する者			
16	林 直輝	株式会社吉徳 資料室長	
○その他事業の趣旨に賛同する団体等の代表者または役職者			
(4)	(山口 祐子)	((公財) 静岡県国際交流協会会長)	
17	藤井 嗣也	静岡駿府ライオンズクラブ 元2R-4Z チェアパーソン	
18	鍋倉 伸子	静岡県コミュニティづくり推進協議会会長	
19	安本 浩之	(一社) 静岡県商工会議所連合会常務理事	
20	佐藤 泰章	静岡県商工会連合会専務理事	
21	柴田 正樹	静岡県文化協会事務局長	
22	坂田 芳乃	静岡県立美術館副館長	
23	小泉 祐一郎	静岡県文化・観光部文化政策課長	
24	岡 あつし	静岡県経済産業部茶業農産課長	
25	北川 清美	静岡県教育委員会社会教育課長	
26	浅山 肇	静岡県企画広報部地域外交局長	

○事務局 静岡県企画広報部地域外交局

「89年の時を超えて甦る日米友好の証」

ふじやま みほこ  
答礼人形「富士山三保子」さんの里帰りを  
実現させましょう！

1927年(昭和2年)3月に米国から贈られた「青い目の人形」への答礼として、全国から集められた57体の人形とともに、本県を代表して米国へ贈られた、答礼人形「富士山三保子」さんが、ふるさとの静岡に、89年ぶりに帰ってきます。

戦後70年を迎え、戦争という不幸な歴史を乗り越え、米寿となった「富士山三保子」さんの里帰りを県民の皆様とともにお迎えし、日米の人形交流の歴史を通じて、「富士山三保子」と、県内に現存する「青い目の人形」に託された平和の大切さや命の尊さを後世に伝えましょう。

答礼人形「富士山三保子」の里帰りを実現させる会  
会長 静岡県知事 川勝 平太



答礼人形「富士山三保子」里帰り展

※各会場とも入場無料です。  
※各会場の開催日時は予定です。

- 1 平成28年2月21日(日)～3月6日(日) 10:00～17:00  
グランシップ 6階展示ギャラリー(JR東静岡駅 南口隣接)  
\*「高松宮妃のおひなさま展」と同時開催
- 2 平成28年3月8日(火)～3月13日(日) 9:00～17:00  
プラサヴェルデ 402会議室(JR沼津駅 北口隣接3分)
- 3 平成28年3月24日(木)～3月28日(月) 10:00～19:30(最終日は17:00)  
遠鉄百貨店 8階催会場(JR浜松駅 北口隣接)

\*展示予定の「青い目の人形」(左上から時計回りで熱海市立網代小学校、  
小山町立明倫小学校、御前崎市教育委員会、富士市立博物館、伊豆の国市立のぞみ幼稚園にて所蔵)

答礼人形「富士山三保子」の里帰りを実現させる会実行委員会事務局

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県企画広報部地域外交局内

TEL:054-221-2309 FAX:054-221-2542 E-mail: kokusai@pref.shizuoka.lg.jp

# 答礼人形「富士山三保子」里帰り展の内容

## 89年ぶりに里帰りする答礼人形「富士山三保子」と着物の展示

「富士山三保子」さんは、後に人間国宝となった人形師 平田郷陽作の日本人形で、米国へ旅立つ前に、県内各地の小学校でお披露目したのち、静岡市立城内尋常高等小学校（現在の葵小学校）の講堂で、多くの子どもたちや県内在住の米国人等により盛大な送別会が行われ、子どもたちやその家族の思いを胸に海を渡っていきました。

1988年（昭和63年）に、日本国内での展示会出展のため、18体の答礼人形とともに一時帰国しましたが、今回の展示は、初めての県内への里帰りで、今回の里帰りの機会に新調する着物のほか、米国で紛失したお道具類も新調して、あわせて展示する予定です。



## 県内に残る「青い目の人形」の展示

答礼人形「富士山三保子」さんを贈るきっかけとなった、1927年（昭和2年）に米国から贈られた「青い目の人形」\*のうち、県内で確認されている5体（平成27年8月現在）を展示する予定です。

\*米国から贈られた約1万2千体のうち、静岡県内の小学校や幼稚園に贈られたのは約250体

## パネル展「日米友好を願う人形交流の歴史」

日米両国の友好を願った答礼人形と「青い目の人形」との戦前の人形交流と、戦争を乗り越え現在に続く新しい人形交流をパネル等の展示で紹介いたします。

## 寄付金募集のお願い

「富士山三保子」さんは、青い目の人形のお礼として、子どもたちがお小遣いの中から一人一銭ずつ出し合いに、筆筒、茶道具などのお道具類とパスポートを持参して米国に渡りました。しかし、米国各所の巡行を経る中で、お道具類すべてを紛失し、着物も他の答礼人形の着物に着せ替えられています。また、人形本体も、長い年月により傷みが生じています。

皆様の善意は、人形の修復と、米国で失われてしまった着物やお道具類の新調などの里帰り事業の実施のために活用させていただきますので、是非、「富士山三保子」さんの里帰りに向けて、県民の皆様の多くの御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

答礼人形「富士山三保子」の里帰りを実現させる会実行委員会 委員長 山口 祐子

### ➤ 寄付金申し込み方法

次の指定寄付金口座へ振込、もしくは払込ください。

振込先銀行名	口座番号	口座名
静岡銀行 県庁支店	普通預金 0324266	トウレイニンギョウ「フジヤマミホ」 答礼人形「富士山三保子」 ノサトカエリヲジツケンサセルカイ の里帰りを実現させる会
スルガ銀行 静岡県庁支店	普通預金 3492732	
ゆうちょ銀行	郵便振替口座 00810-8-216212	

\*手数料については、申し訳ありませんが、御負担願います。

➤ 寄付口数 個人1口 1,000円、企業・団体1口 10,000円

➤ その他

- ・振込、払込以外の場合は、お手数ですが、実行委員会事務局（表面記載）へ御連絡願います。
- ・なお、10口以上の寄付をいただいた個人、企業及び団体の皆様には、「答礼人形「富士山三保子」里帰り展」の会場内で、お名前を掲載させていただきますので、御希望される方は、実行委員会事務局宛て御連絡ください。